

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	被爆者援護事業	所管	保健福祉部 福祉総務課
			TEL 2998-9113

事業の目的 (何の為に 行うか)	原子爆弾被爆者等の健康の保持及び向上に資するため。被爆者の遺族に対する援護のため。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	被爆者健康手帳の交付を受けたもので、本市に住所を有する者	対象とした数	229	人
		実際に 利用した数	2	人

活動の内容 (何を したか)	・入院見舞金の支給 被爆者等が入院をし、本人からの申請に基づき、30,000円を支給する。 ・葬祭費の支給 被爆者等が死亡し、葬儀執行者からの申請に基づき、50,000円を支給する。								
	活動実績	項目名	入院見舞金 支給 件数	2	項目名	葬祭費 支給件数	0	項目名	
			単位 件			単位 件			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	200	60	718	2.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	入院見舞金・葬祭費 支給 率	支給者数÷申請件数	100 単位	100 単位	100.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止		
	予算	現状どおり	増額	* 減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	被爆者援護事業		保健福祉部 福祉総務課			
040105			グループ 総務・民生委員担当			
開始年度		昭和 39 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、所沢市原子爆弾被爆者援護条例			原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、所沢市原子爆弾被爆者援護条例
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	中柱 小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 *** 位				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
コード		3261		コード	
事業開始の背景					
昭和20年8月、広島市及び長崎市に投下された原子爆弾は、一瞬にして尊い生命を奪い、一命をとりとめた被爆者にも生涯いやすことのできない傷跡と後遺症を残し、不安の中での生活をもたらした。このような放射能に起因する健康被害に苦しむ被爆者の健康保持及び増進を図るため、原子爆弾被爆者に対する援護に対する法律が施行され、市としても原子爆弾被爆者援護条例を施行し、援護をすることとなった。					

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)						
	原子爆弾被爆者等の健康の保持及び向上に資するため。被爆者の遺族に対する援護のため。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	被爆者健康手帳の交付を受けたもので、本市に住所を有する者			申請者数(延べ)			
	対象数	単位	平成 18 年度	229	人	平成 19 年度	229
事業の具体的な内容及び実施方法							
・入院見舞金の支給 被爆者等が入院をし、本人からの申請に基づき、30,000円を支給する。 ・葬祭費の支給 被爆者等が死亡し、葬儀執行者からの申請に基づき、50,000円を支給する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点 特になし					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		300	200	200	
	決算(見込み含む)		320	60		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		0.05 人	460	0.07 人	658
	公債費					
	事業費合計		780	718		
	財源内訳	一般財源	780	718	200	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			2.3	2.1		
利用数一単位あたり(単位:円)			78,000.0	358,790.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	入院見舞金 支給件数	件	9	2	5	
		葬祭費 支給件数	件	1	0	1	
	成果分析	入院見舞金・葬祭費 支給率	支給者数÷申請件数	目標値	100	100	
				実績	100	100	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
	%	達成率		100.0	100.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	被爆者の健康保持・増進を図るため、被爆者の遺族に対する援護のため支給であるが、見舞金の支給内容について見直しを検討していく。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	入院見舞金・葬祭費 支給	該当者への周知広報等掲載 支給率向上	年間	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由 原子爆弾被爆者の健康保持及び増進を図るため、遺族に対する援護は、今後も続けていく必要があるため、事業を引き続き継続していく考えである。				
評価日		H20.5.2		
記入者職氏名		福祉総務課長 中村 俊明		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由 評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由 評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
基本目標			
主要課題			
施策の方向			